

法華寺林少

防衛大 学 校



1986

部誌第13号

目 次

巻頭の辞	部長 丸川 武志	… 1
OB挨拶（監督、顧問）		… 2
学生寄稿		
	31・32期主将	… 3
	今年度の抱負	… 4
（奥平会報）		
	部長・顧問等，32期幹部氏名	… 7
	活動成果報告	… 8
	奥平会の活動・会費について	… 10
	会計報告	… 11
	OB名簿	… 12

部長 丸川 武志

合掌

新年を迎え、OB、部員並びに部関係各位の御健勝をお祈り申し上げます。

昭和61年は31期・4学年が部の運営を担当してきましたが、年間を通じた各種大会において数々の輝かしい成果を挙げることができ、誠に御同慶の至りと存じております。中でも全日本学生大会において、最高の榮譽とされている最優秀組演武賞（内閣総理大臣賞）及び最優秀団体演武賞（日本武道館賞）の二大タイトルを同時に獲得したことは特筆すべき快挙で、わが少林寺拳法部の実力が今や学生界の頂点に立ったことを如実に示したものであります。

この榮譽を連続して守りとおすことは容易ではありませんが、目下政権を交替した32期・3学年以下の全部員が希望に燃えて新しいスタートをきったところで、わが部が特徴とする一つには、全部員が選手要員であることが挙げられます。3学年次に団演を2組つくり上げることがこれに当たるわけで、それぞれが懸命に努力することによって両者共甲乙つけ難い程のレベルに上達することをいっているのです。この過程における技の進歩には特に著しいものが見られますが、団演といえども本来組演部である以上、両者の基本は一体であります。個々の基本技というものは修練により自ら会得するものであるから、この原点に立って練習方法に一層の工夫を施せば、素晴らしい組演部が続々と誕生するように思われてなりません。

終わりに、日頃御指導を頂いている田村・神田の両師範に厚く御礼を申し上げると共に、OB諸兄のより一層のご声援と御来校をお待ちしております。

結手



* 監 督 挨拶 *

1等空尉 佐藤 秀幸

合掌

厳寒の頃、OB各位には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

60年3月に、前中谷1尉から監督を引継ぎ、早10ヶ月が過ぎようとしています。5月の市民大会に始まり、11月23日の全日本学生大会まで各種大会を終え、顧みますと、9月には全自衛隊大会をここ防大で開催し、各種大会での成果はさることながら、わが拳法部が最も目標とする全日本学生大会では、団体演武と組演武（三段以上）の部で最優秀を獲得することができました。これもひとえに31期4学年の指導と、田村・神田両師範の御指導、OB各位のご声援・ご指導、部長以下顧問等のご協力のすべての総合された結果であると考えます。

しかしながら、今回の団体演部の傾向に代表されるように、演部の流れが変わりつつあることが痛感され、うかうかしておれない状況であることも確かです。32期政権がスタートして間もない時期ではありますが、これからより一層、われわれ顧問等は学生と共に考え、模索し、輝かしい伝統を維持してゆく所存であります。つきましては、今まで以上のOB各位のご指導、ご声援を頂きたいお願い申し上げます。

これからまだまだ寒さが続きますが、OB各位のご健康と今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

結手

* OBの皆様へ *

OB専任顧問

2等陸佐 松島 順一

合掌

新年、あけましておめでとうございます。OBの皆様には益々ご健勝でご活躍の事と拝察申し上げます。

60年3月、1大隊指導教官を拝命し約20年振りに小原台にまいりましたが、20年の歳月は防大を大きく変化させております。とりわけ少林寺拳法部は、各学年約30名、部全体としては約120名（全校学生数の約7%にあたる数）が所属し、防大校友会の代表的な部に成長しております。約20年前、10期生が奥平先生（当時、4大隊指導教官）の指導で始めた頃とは、部員数、対外試合での成果、練習要領等において隔世の感があります。

OBの皆様におかれましては、隊務多忙とは存じますが、折に振れて後輩の激励をお願い致します。

結手

32期 諸 拳 士 へ

31期主将 吉武 辰明

合掌

早、我々31期の一年が過ぎ、君たち32期に政権を譲る。まずは全日本制覇おめでとう。団演最優秀は、昨年涙をのんだ我々31期にとって、何よりも嬉しい。

しかし、これはあくまで日々の修行の成果のひとつに過ぎないということを忘れないでほしい。今まさに、我が防大少林寺拳法部は日本中の大学少林寺拳法部の頂点に立っている。即ち、大学拳法部のリーダーシップをとっているのは我が防大なのである。よって我々の一挙一動が及ぼす影響は小さくないのだ。このことを念頭に置いて、誇りは高く持てども決しておごることなく技術の向上はもちろんのこと、人間的質の向上にも努めて、日々修行してもらいたい。そして強くて優しい拳士を一人でも多く育ててほしい。王道を歩き始めた今こそ、開祖の教えの原点に立返る時なのである。大会での賞獲得が修行の目的ではないのだ。

我々31期は、30期先輩から受け継いだ10期からの輝かしい伝統を更に高めて君たちに譲る。君たち32期も一生懸命修行に励み、後輩と共に汗を流し、この伝統をより一層高めていてもらいたい。後は頼む。

結手

新 主 将 の 抱 負

32期主将 大塚 裕治

合掌

少林寺拳法を始めて早三年の月日が経ち、いよいよ私達32期が防大少林寺拳法部を引っ張ってゆくことになりました。

諸先輩方の精進、努力によって築かれた伝統を受け継ぎ、一層発展させてゆく所存であります。

我が防大少林寺拳法部には、毎年多くの新入生が入部してまいります。そのほとんどは全くの初心者です。しかし三年後には、全員が選手となって日本一を勝ち取るまでになります。これは、毎年継承されていく技術の高さもさることながら、部員の姿勢によるところも大きいと思います。つまり、常にやる気を持って練習に臨む姿勢です。私は、このクラブ発展の原動力である「やる気」を今年一年のクラブの目標に挙げています。32期一同、我が部の発展のために努力してまいりますので、諸先輩方、今後とも厚いご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

結手

今年度の抱負

< 新政権における抱負 >

32期 松尾 研志

部の目的を考えると、まず、部の伝統が挙げられます。今までの成績をみると全国的に誇れ、特に団体演武においては全国の頂点に立っています。またここに3学年全員の技術の向上が伺われると思います。このような成績をあげることができたのも31期諸先輩方々のご指導及び部長、監督、顧問、OBの方々の温かいご支援・ご協力の御陰だと思えます。私達はこれに感謝するとともに、今後の拳法部の発展に最大の努力をするものだと感じるのであります。

私達も入部して、早三年が経ち、いよいよ政権を執ることとなり、技術の向上、部の団結、伝統の継承など色々な仕事があり、まだまだ不安な状態であります。しかしながら、自己の確立と自他共榮の精神が少林寺拳法の最終目標であることを念頭において努力・貢献してゆく所存でありますので、ご支援の程、宜しくお願い致します。

< 三学年としての抱負 >

32期 小原 真二

クラブの政権が31期から32期へと移り、32期がクラブを運営するようになった。これから先、下級生を指導していくにあたり、私の目標は「考えながらやる」である。下級生の中の何人かの者はただ単に上級生からやらされているという意識を持っているのではないかと思うが、これからはこういった意識を捨ててもらいたい。少林寺拳法に限らず、何をやるにしても、自ら進んでやる気持ちを持たないと上達は望めないからである。それと同時に考えながらやってもらいたい。柔法・剛法・体力増強等すべてのことに対して考えながらやってもらいたい。

最後に、「考えながらやる少林寺」をやるために、私は努力をしてゆくつもりであり、下級生はしっかり上級生の指導を信じてついてきてくれることを希望する。



< 2学年の抱負 >

33期 細野 容司

私達2学年はこれから一年間、団体演武練習という、我が部に於いて最も苛酷な練習の期間を迎えます。それにあたり、ここに抱負を述べようと思います。

言うまでもなく団体演武は我が部が最大の関心を持ってあたるメイン・イベントであり、本校は過去の大会に於いて非常に優秀な成績をおさめ、日本一の実力を認められてきました。私達もこの伝統を継承すべく、日々の練習に励みたいと思います。

2学年にとっては、いかに苛酷な練習を克服するか、という点が最大の問題となるでしょう。不屈の精神力なくして、団体演武は成し遂げられないといえます。我々2学年は、やる気を出し、練習を盛り上げる雰囲気をつくる必要があります。

< 2学年としての抱負 >

33期 岡本 秀文

2学年としての抱負は、団演の連覇が第一の目標であることは言うまでもないことですが、もう少し細かく、具体的に述べてみたいと思います。

第一に、基本の再認識があります。基本の突き・蹴りを一本一本、大事にして、常に確実な基本動作ができるようにしたいと思います。

第二に、同期間の団結があります。団演を成功させるには、皆の気持ちを一つにする必要があります。そのために、互いに協力して団結し、団演を乗り切って行こうと思います。

2学年としての抱負をまとめると、互いに団結し、声を出し合い、基本を確実なものとし、団演を成功へと導き、二連覇を達成することです。



< 今年度の抱負 >

34期 小笠原 卓人

皆様御存知の通り、34期には多くの欠点がありますが、その最たるものは何と言っても人数が少ないことです。現在の状況のままでは、これまでの防大少林寺拳法部の輝かしい伝統を34期ですたれさせてしまうことにもなりかねません。

こうした状況を打破するために、我が34期は互いに励まし合い、助け合う団結に加え、全員が他人よりうまくなってやろうと目標を立て、互いに刺激し合う、そんな団結をも目指してゆきたいと思います。

今政権の勤務目標は「やる気」です。我々もそれに応えてうまくなってやる、というやる気を出してゆきます。そして一年後には「34期は人数が少ないが、やる気はあるし、皆うまい」、そんな風に言われるようになりたいです。

34期は切磋琢磨し、少数精鋭となるよう頑張りますので宜しくお願いします。

< 抱負 >

34期 竹内 博忠

今、31期政権が終わり、新たに32期政権下での練習が行われている。

現政権下では、「やる気」を前面に押し出して、我々1学年も新たな態勢の中に期待を持って、「団結」と「基本に忠実に」ということで頑張っている。

私個人としても、他の1学年同様に心新たにしている。そこで私は、よく言われることだが、今一度「己れに克つ」ということをよく見直そうと思う。易きに流れる心を御し、自分に打ち勝つ。なかなか難しいことであるが、これを為し、皆と共に進んで行きたいと思う。新政権の方針に応えることができるように。



奧平會報



6 1 年度防大少林寺拳法部

部長顧問等

部長	丸川 武志	顧問	横手 裕明	(22期)
師範	田村 倉蔵	"	山下 啓治	(23期)
"	神田 憲和	"	内海 浩	(26期)
監督	佐藤 秀幸 (24期)	"	及川 幸夫	(")
顧問	山本 博夫 (助教授)	"	大居 一之	(27期)
"	松島 順一 (10期)	"	行事 正	(")
"	今村 修二 (15期)	"	川村 治彦	(")
"	前田 慎一 (17期)	"	細川 広	(27外)

第32期幹部

主将	…大塚 裕治	一大隊責任者	…松尾 研志
副将 (演)	…平田 雄嗣	二 "	…大塚 和也
" (乱)	…田口 芳郎	三 "	…沢本 武朝
統制長	…植村 茂己	四 "	…小原 真二
道場長	…山口 直人	主務	…境 孝明
訓練係	…後藤 幸英	"	…上山 聡
"	…寺岡 保成	庶務	…河上 康博
級拳士係	…福重 毅尚	"	…鈴木 憲
"	…渡部 誠	会計	…高橋 秀雄
准拳士係	…小田 益男	"	…山地 伸一
"	…中村 裕亮	安全係	…川崎 誠二
少拳士係	…更工 雅彦	師範係	…神保 俊昭
"	…市来 道啓	渉外	…福元 昌二
		OB係	…竹内 利治

昭和61年度活動成果報告

5月18日 横須賀市民大会

少拳士の部	最優秀賞	1 1 1	近藤良彦
		1 3 1	田口直志
	優秀賞	1 1 1	橋本哲彰
		1 2 1	大井一史
級拳士の部	最優秀賞	1 4 3	荒木俊一
		2 2 3	新崎秀樹
	優秀賞	1 2 3	川崎英幸
		3 3 3	町島敏幸

8月31日 神奈川県大会

中拳士以上の部	優秀賞	2 1 1	小南良人		
		3 1 1	北村克晶		
団体の部	最優秀賞	1 1 2	植村茂己	1 4 2	平田雄嗣
		2 1 2	山口直人	3 2 2	中村裕亮
		3 3 2	田口芳郎	3 4 2	上山聡
		4 2 2	神保俊昭	4 4 2	後藤幸英
准拳士の部	最優秀賞	1 2 3	久永智		
		1 1 3	富樫勇一		

9月7日 全自衛隊大会

団体の部	最優秀賞	1 2 2	河上康博	1 2 2	更工雅彦
		1 3 2	渡部誠	1 4 2	小田益男
		2 2 2	高橋秀雄	2 3 2	大塚和也
		2 3 2	福重毅尚	2 4 2	大塚裕治
		2 4 2	市来道啓	3 1 2	澤本武朝
		3 3 3	寺岡保成	4 3 2	福元昌二
准拳士の部	最優秀賞	4 4 3	御厨広之	4 3 3	山本裕一

10月19日 関東学生大会

三人掛の部	最優秀賞	1 2 1	久保敏浩	1 3 1	石丸威司
		2 1 1	阿部博文		

中拳士の部	優良賞	1 1 1	橋本哲彰
		1 2 1	大井一史

団体の部	優秀賞	1 1 2	川崎誠二	1 2 2	更工雅彦
		1 2 2	河上康博	1 4 2	小田益男
		2 2 2	高橋秀雄	2 3 2	大塚和也
		2 3 2	福重毅尚	2 4 2	大塚裕治
		2 4 2	市来道啓	3 1 2	澤本武朝
		3 3 3	寺岡保成	4 3 2	福元昌二

11月16日 全国大会

一般団体の部	優秀賞	1 1 2	植村茂己	1 2 2	松尾研志
		1 4 2	平田雄嗣	2 1 2	山口直人
		3 3 2	田口芳郎	3 4 2	鈴木憲
		4 2 2	神保俊昭	4 4 2	後藤幸英

11月23日 全日本学生大会

中拳士の部	最優秀賞	3 1 1	吉武辰明
		4 4 1	亀山慎二

団体の部	最優秀賞	1 2 2	河上康博	1 2 2	更工雅彦
		1 3 2	渡部誠	1 4 2	小田益男
		2 2 2	高橋秀雄	2 3 2	大塚和也
		2 3 2	福重毅尚	2 4 2	大塚裕治
		2 4 2	市来道啓	3 1 2	澤本武朝
		3 3 3	寺岡保成	4 3 2	福元昌二

准拳士の部	優良賞	1 2 3	川崎英幸
		2 1 3	増田友晴

* 奥平会の活動内容

- 1 奥平会報の発行
- 2 会員相互の融和団結の促進
 - (1) OB総会の開催
 - (2) 部隊等における支部の設立と活動に対する援助
 - (3) 会員の慶弔に関すること
 - ・結婚…祝電
 - ・死亡…花輪、弔電
- 3 会員の修行の便を図ること
修行に必要な資料の提供・配布（要請による）
- 4 拳法部への支援
 - (1) 夏合宿
 - (2) 関東、全日本その他の大会
 - (3) OB杯大会
 - (4) その他
- 5 奥平会員による現役部員の激励及び応援等の支援に対する謝礼
基準 2000円（年間50人分予定）
- 6 その他

* 奥平会終身会費について

- 1 終身会費制度
 - ・20期以前のOB…一律5000円
 - ・21期以降のOB…卒業時における学生手当の二分の一（千円未満切捨て）
- 2 経緯

49年度終身会費制について検討し、19期生から実施しましたが徹底をできず、19期生陸上及び20期生海上の一部のみの実施にとどまりました。
この件につき、51年度白紙の状態から部長、顧問、在校生が再検討し、現在の終身会費制を確立し実行に移しておりますのでよろしくご協力下さい。
- 3 連絡
 - (1) 終身会費の領収は、OB名簿掲載により代えさせていただきます。
 - (2) 終身会費納入状況は名簿の末尾に示してあります。誤りがありましたら御一報下さい。
 - (3) 終身会費未納の方は納入をお願いします。

* 連絡先：防大22中隊 佐藤 秀幸

TEL：（専用線）8-40-2622

（局線）0468-41-3810 内線2722

昭和 61 年度 会計報告

(60. 12. 3 ~ 61. 12. 1)

年月日	摘 要	収入金額	支払金額	差引残高
60 12. 3	繰越金			7 2 9, 7 3 4
12. 3	自衛隊大会支援		3 0 0 0 0	6 9 9, 7 3 4
" "	" 顧問参加費		5 0 0 0	6 9 4, 7 3 4
12. 12	60 年度祝勝会支援		5 0 0 0 0	6 4 4, 7 3 4
61 1 11	30 期祝勝費 (1 斗樽)		2 5 0 0 0	6 1 9, 7 3 4
"	師範接待費		2, 1 7 0	6 1 7, 5 6 4
"	" 車代		6 8 0	6 1 6, 8 8 4
2. 25	部誌発送		3 8, 8 0 0	5 7 8, 0 8 4
" 26	部誌代金		1 1 0 0 0 0	4 6 8, 0 8 4
3 12	祝電 (# 2 4 F 藤城)		6 4 0	4 6 7, 4 4 4
" "	終身会費 (# 1 7 F 永富)	5, 0 0 0		4 7 2, 4 4 4
3. 14	30 期卒業記念品購入支援		5 0 0 0 0	4 2 2, 4 4 4
3. 19	祝電 (# 24F 榎見)		1, 5 8 0	4 2 0, 8 6 4
"	転出記念品代 (中谷 1 尉、笹山 1 尉 小菅 2 尉、大内 2 尉)		2 0 0 0 0	4 0 0, 8 6 4
20	終身会費 (# 18N 近藤)	5, 0 0 0		4 0 5, 8 6 4
22	春合宿 (本部) 顧問参加支援		1 0 0 0 0	3 9 5, 8 6 4
25	春合宿支援		1 1, 0 0 0	3 8 4, 8 6 4
4. 3	終身会費 (# 12A 衛藤)	5, 0 0 0		3 8 9, 8 6 4
25	30 期 O B 会終身会費 (2 9 名分)	8 1 2, 0 0 0		1, 2 0 1, 8 6 4
25	顧問会費		1 8, 8 9 0	1, 1 8 2, 9 7 4
26	下期利息	1 0, 2 3 1		1, 1 9 3, 2 0 5
5. 22	衣笠道院 1 0 周年記念演武大会支援		1 0 0 0 0	1 1, 8 3, 2 0 5
6 27	転出記念品代 (三星 1 尉)		5, 0 0 0	1, 1 7 8, 2 0 5
7. 2	顧問会支援		2 0, 8 6 0	1, 1 5 7, 3 4 5
8. 24	夏季合宿支援 (磐梯)		1 0 0, 0 0 0	1, 0 5 7, 3 4 5
" "	夏季合宿 O B 参加費		3 6, 0 0 0	1, 0 2 1, 3 4 5
" "	" 日用品等雑費		1 7, 7 6 5	1, 0 0 3, 5 8 0
9. 4	鴨居支部道場開きお祝金		1 0, 0 0 0	9 9 3, 5 8 0
9. 7	奥平先生を囲む会支援 (奥平先生宿泊、食事代含む)		4 4, 2 0 0	9 4 9, 3 8 0
" "	全自衛隊大会支援		5 9, 5 7 8	8 8 9, 8 0 2
10. 25	関東学生大会 O B 参加費		6, 0 0 0	8 8 3, 8 0 2
11. 12	全国大会 O B 支援		1 0 0 0 0	8 7 3, 8 0 2
11. 22	全日本学生大会支援金		1 0 0 0 0 0	7 7 3, 8 0 2
11. 25	全日本学生大会 O B 参加費		2 9, 6 8 0	7 4 4, 1 2 2
11 27	徒手格闘選手権 O B 参加支援		3, 0 0 0	7 4 1, 1 2 2
12. 1	結婚電報 (# 29F 熊田原)		8 5 0	7 4 0, 2 7 2
	計	1, 5 6 6, 9 6 5	8 2 6, 6 9 3	7 4 0, 2 7 2

O B 名 簿

期 別	氏 名	基地等	部 隊 名 等	所属年月日	O B 会費
10A	清水 薫 男	市ヶ谷	陸自幹校教官	61.08.01	
"	水田 弘 明	相馬東	12師団司令部	60.03.16	完 納
"	黒野 耐	市ヶ谷	幹 校	58.03.16	未 納
"	松島 順	防 大	防大1大隊指導教官	60.03.16	完 納
"	三井 光 夫		外務事務官(ユーゴ)	60.04.01	"
10N	岡崎 昭 一		神奈川県三浦市	59.03.30	未 納
10F	出田 弘 一	百 里	7空団装備部長	62.01.16	"
"	鈴木 勝 人	百 里	第7航空団	60.03.16	"
"	布浦 劭	千 歳	第3高射群(整備)整備隊長	60.03.16	完 納
11A	勝野 建 朗	東千歳	7後支連	60.08.08	"
"	須ヶ崎 了 英	千 僧	3師団2部長	61.03.17	"
"	廣岡 征 夫	福 岡	4偵隊長	60.03.16	未 納
"	水野 照 夫	健 軍	西方輸	59.03.16	完 納
11N	佐藤 正 秀	小 月	211教空	58.07.20	"
"	渡部 貞 吉	舞 鶴	くまの(艦長)	60.07.25	未 納
11F	清水 正 睦	檜 町	空幕防衛課	61.06.16	"
"	田谷 俊 之	百 里	偵察航空隊	60.08.01	完 納
"	藤田 尚	檜 町	空幕整備課	60.08.01	"
"	坂元 正 昭	退 職	千葉県松戸市馬橋399-3		"
"	上田 勇 作	"	60.1 現在不明		未 納
12A	新井 宏 治	上富良野	2対戦副長	61.03.17	完 納
"	衛藤 利 治	滝ヶ原	110施大長	61.08.01	"
12N	佐藤 凡 大	湊 島	ゆうばり艦長	61.11.15	"
"	津川 保 夫	徳 島	徳教空群幕僚	61.03.25	未 納
"	橋田 典 幸	檜 町	海幕通信課	60.12.16	完 納
12F	野中 紘 治	那 覇	第83航空隊(装備隊長)	58.07.01	"
"	野口 昭 徳	入 間	1高群(4高射隊長)	60.01.16	未 納
13A	石原 薩 雄		沖縄地連(石垣)出長	61.08.20	完 納
"	白石 克 成	仙 台	東北総監訓練課	59.03.16	"
"	高本 俊 之	三軒屋	324地施隊長	60.08.08	未 納
"	戸田 勝 秋	檜 町	幕装(需品)	61.03.17	"
"	西村 繁 樹	檜 町	陸幕防衛部防衛	60.08.08	完 納
"	益田 修 健	軍 島	西方総監部	60.03.16	未 納
13F	松生 剛 見	見 島	第17警戒群	54.03.16	完 納
14A	赤瀬 良 二	檜 町	陸幕防衛部研究	59.08.01	"
"	斎藤 正 精	退 職	〒214 東京都八王子市館町館ヶ丘団地 3-6-504		未 納
"	清水 重 周	檜 町	内 局(防衛)	60.08.08	"
"	清水 直 正	高 田	2普連	61.08.01	"
"	中原 勇	檜 町	幕人付	60.08.01	完 納
"	原田 敏 男	日本原	13特連	59.08.01	未 納
14F	今井 岸 夫	退 職	〒719-02 浅口郡鴨町益坂1411		"
"	高須 好 美	"	〒446 安城市篠目町古林畔1-19		完 納
14N	森田 則 広	厚 木	51空研究指揮隊	58.01.20	未 納
15A	井口 昌 之	檜 町	陸幕教(教育)	58.03.16	"
"	上杉 和 寿	"	幕装(装計)	61.03.17	"
"	大竹 義 信	高 田	5施設本中	56.08.01	"
"	岡野 耕 隆	富 士	富校(企画)	61.08.01	完 納
"	奥野 耕 三	"	富士学校付	61.03.17	"
"	長船 敬 天	"	富校付	61.03.17	未 納
"	加藤 三千 夫	檜 町	幕防(防衛)	61.03.17	未 納
"	遠田 雅 美	明 野	航空学校	61.03.17	未 納

期別	氏名	基地等	部隊名等	所属年月日	OB会費
15A	土居良治	守山	114地警隊	58.03.16	完納
"	花房晃夫	八戸	38普連1中	60.03.16	"
"	古川照久	檜町	陸幕防衛部研究	60.03.16	未納
"	三嶋利克	市ヶ谷	中央調査隊(3科)	58.08.01	"
15N	今村修二	防大	訓練課海上企画	61.03.25	完納
"	中島栄一	厚木	6空	61.07.23	"
"	山崎富雄	横須賀	潜艦隊幕僚	61.01.20	"
"	山下啓介	檜町	海幕装備体系課	60.07.01	"
15F	島田徹	浜松南	2術校教務課	60.03.16	未納
"	福嶋健治	千歳	第2航空団	58.08.01	完納
"	野間口光夫	退職			"
16A	内山晃	檜町	中資隊	59.08.01	未納
"	岡田正一	勝田	施設学校	59.03.16	完納
"	斎藤健治	釧路	377会隊長	60.03.16	"
"	佐々木二郎	檜町	統幕副官	61.03.10	"
"	竹富内準	伊丹	36普連1中	59.08.01	未納
"	富本啓一	檜町	陸幕防衛部防衛	60.03.16	"
"	平川真士	"	幕防(研究)	61.03.17	"
16N	阿部哲夫	"	海幕装備体系課	61.01.20	"
"	福島一夫	退職	〒980仙台市川内亀岡65 毛利方		"
16F	小笠原猛	入間	中警団中防群	56.03.16	"
"	八木橋享	百里	7空団	61.07.16	完納
17A	荒木正廣	市ヶ谷	幕調(調1)	61.08.01	"
"	飯島定雄	那覇	416基通長	61.08.01	未納
"	小池保治	俱知安	29普中長	61.08.01	完納
"	小坂正志	西ドイツ	在独大使館	60.03.16	未納
"	佐藤吉信	間野	航校	60.08.08	完納
"	鈴木陽	北恵庭	72戦連中長	61.03.17	"
"	高橋輝正	檜町	技研(陸付)	59.03.16	"
"	富安久芳	俱知安	29普連中長	60.03.16	未納
"	中尾吉孝	富士	富校(特)	61.03.17	完納
"	廣瀬誠	市ヶ谷	32普連中長	60.08.08	"
"	福沢賢	東千歳	11普連中長	60.08.08	"
"	村田芳次	滝ヶ原	普教連中長	61.03.17	"
"	吉川雄二	檜町	技研3研	57.08.02	"
17N	久和清幸	大洗	ゆうぐも砲雷長兼副長	60.07.20	未納
"	塔岡道夫	横須賀	はつゆき	60.01.19	"
"	西嶋正幹	厚木	6空	60.07.20	完納
17F	石渡幹生	檜町	空幕運用課	61.08.01	"
"	稲見潔	市ヶ谷	補本	60.04.16	未納
"	永富信吉	三沢	3空団	59.08.01	"
"	西岡義博	新田原	飛行教導隊	59.08.01	完納
"	松田清明	府中	総隊	61.08.01	"
"	沢博海	退職	東広島市西条町吉行1-40		完納
"	細田俊夫	"	高崎市山名町1600-239		"
"	山本剛	"	登別市美園町2-24-7		未納
18A	安藤恒夫	練馬	1普連中長	61.08.01	"
"	上田正文	福岡	19普連	59.03.16	"
"	大西正俊	南恵庭	3施団本	61.08.01	完納
"	門野睦廣	久里浜	通信学校付	61.03.17	未納
"	河野基春	船岡	2施団本	61.03.17	完納
"	川原彰	芝浦	302保中	61.03.17	未納
"	工藤重見	檜町	技研2研	59.03.16	"

期別	氏名	基地等	部隊名等	所属年月日	OB会費
18A	✓紫村敬二	大久保	4施団本	61.08.01	完納
"	✓首藤敏明	松戸	需校	60.03.16	未納
"	✓千原和人	市ヶ谷	幹校(学)	60.08.08	"
"	✓中島仁文	別海	5偵隊	59.08.01	"
"	✓越沢仁章	北恵庭	73戦連	59.08.01	"
"	✓宮田秀二	那覇	101飛隊	60.08.08	"
"	✓渡辺義幸		愛知地連(名古屋出長)	60.08.08	"
18N	✓岩渕秀樹	横須賀	いそゆき	60.12.16	"
"	✓近藤清司	厚木	51空付	61.03.20	完納
"	✓松井博	岩国	31空	59.05.21	未納
"	✓平原誠	檜町	海幕教育2課	61.04.01	完納
18F	✓笠原久	入間	中空	61.08.01	"
"	✓勘米良幸	市ヶ谷	補給本部	58.08.01	"
"	✓長尾齊	府中	管気団	57.08.20	"
"	✓白数裕樹	退職	亀岡市篠町見晴3-1-5		"
19A	✓青柳忍	富士	富校付	61.03.17	"
"	✓迫田直心	"	富校付	61.03.17	"
"	園部武典	市ヶ谷	幕調(調2)	61.08.01	"
"	津留崎清宝	勝田	施校付	61.03.17	"
"	野村俊朗	檜町	人統隊	55.03.23	"
"	廣瀬和紀	札幌	北方(調)	59.08.01	"
"	古庄和裕	東千歳	7特連	60.03.16	"
"	前之園敏雄	勝田	施校	59.03.16	"
"	屋久俊郎	習志野	1空団特大	61.08.01	"
"	横島秋男	守山	10師団(2部)	59.08.01	"
"	三星忠正	仙台	東北方(防)	61.08.01	"
19N	濱(○)谷守秀	檜町	長官官房広報課	60.01.19	未納
19F	磯光三	市ヶ谷	補給本部	60.01.16	"
"	小曲一之	新田原	5空団	60.08.01	"
"	郷田進	檜町	空幕通電課	61.08.01	完納
"	田中秀明	百里	7空団	61.08.01	未納
"	藤井和弥	入間	2輸空隊	60.04.16	完納
"	松下睦裕	府中	総隊司令部	60.08.01	未納
"	吉本博	市ヶ谷	補給本部	60.08.31	"
"	園山栄一	退職	北九州市門司東1丁目1-20-10		"
"	後藤藤一章	退職	春日市若葉台22組		完納
"	杉山昌宏	"	"		未納
20A	浅原昭夫	霞ヶ浦	武補	61.03.17	"
"	楠本裕幸	市ヶ谷	幹校(学)	61.08.01	"
"	小林実隆	富士	装開発実験隊	60.08.08	完納
"	榭喜隆	久里浜	通校	60.03.16	"
"	高岡正明	勝田	施校	59.08.01	"
"	仲原久晃	市ヶ谷	幹校(学)	60.08.08	"
"	馬場崎修	健軍	西方(調)	61.03.17	未納
"	半澤康司	市ヶ谷	幹校(学)	61.08.01	完納
"	伏木亨己	富士	装開発実験隊	60.03.16	"
"	山形克孝	霞ヶ浦	航校(霞ヶ浦)	61.08.01	"
20N	木村彦	檜町	海幕総務課	61.02.21	"
20F	石村裕	"	空幕通電課	61.03.17	"
"	岸本昌文	浜松北	第1航空団	59.03.16	"
"	高林久美	百里	第7航空団	54.09.22	"
"	岳川清	檜町	空幕防衛部	61.04.16	"
"	南園宏	三沢	北防群	51.10.18	未納

期別	氏名	基地等	部隊名等	所属年月日	OB会費
21A	大谷昭次郎	富士	戦教(2中)長	60.08.08	完納
"	加藤隆	旭川	2師団(3部)	60.03.16	"
"	貴志倫生	久里浜	通校	61.08.01	"
"	桑原幹夫	日本原	2混団特大(中)長	59.03.16	"
"	湖崎隆	勝田	施校	61.08.01	"
"	澤井研次	守山	35普連	58.03.16	"
"	園田郁夫	習志野	1空団特大	61.08.01	"
"	高橋久泰	俱知安	29普連	57.03.16	"
"	野中敏治	用賀	衛生補給所(企画室)	59.03.16	"
"	花田一志	仙台	東北方調隊	61.03.17	"
"	濱崎勝	久留米	4特連中長	59.03.16	"
"	渡部誠		技研(1研)	61.08.01	未納
21N	城山宏	館山	121空	56.01.24	完納
"	福岡誠	横須賀	せとしお水雷長	61.04.22	"
"	村田隆	防大	小隊指導官	61.08.07	"
"	山口次郎	檜町	海幕運用課	61.01.20	"
21F	木山幸保	岐阜	第2補給所	60.08.01	"
"	黒澤豊彦	小松	6空団	60.03.17	"
"	真田雅章	岐阜	空突団	60.04.16	"
"	杉本弥行	那覇	南混団	61.08.01	"
"	沼田幸夫	三沢	3空団	60.08.01	"
"	平本行	小平	調校		"
"	廣江勝馬	市ヶ谷	幹校付	61.08.01	"
"	松本修司	那覇	南混団	61.03.17	"
"	鍋島和史	退職	堺市八田西町3-90-173		"
"	朱永武	留学生	シンガポール在中		"
22A	永栄文晴	立川	東方航隊付	60.08.08	"
"	大本健吾	東立川	101測大	58.03.20	"
"	財城昭彦	守山	10師団司令部(2部)	60.08.08	"
"	島松正一	駒門	第1特連中長	60.08.08	"
"	野口利保	富士	富校(機)	61.03.17	"
"	原田有繁	北千歳	1特群中長	60.08.08	"
"	松村利宏	新町	12施大中長	59.03.16	"
"	松本俊二	郡山	6特連中長	60.08.08	"
"	吉岡聖二	市ヶ谷	幹校(学)	61.08.01	"
22N	高塚裕幸	佐世保	しまゆきぎ装員	61.02.01	"
"	高塚田真司	呉	ゆうしお	61.01.20	"
"	中谷茂	江田島	1術校幹部中級掃海課程	61.03.20	"
"	延近保生	八戸	4空付(中級学生)	61.01.25	"
"	坊垣内広明	横須賀	プログラム隊本部	59.02.01	"
22F	永盛重	入間	中警戒団司令部	53.11.10	"
"	木戸文夫	新田原	新田原救難隊	56.03.12	"
"	小関信広	入間	プログラム管理隊	58.08.01	"
"	酒井伸也	小松	第6航空団	56.07.25	"
"	堂込勝也	市ヶ谷	補給本部	59.08.01	"
"	野村勝廣	府中	総隊司令部	60.08.01	"
"	横手裕明	防大	小隊指導官	61.08.07	"
23A	岩田清文	市ヶ谷	幹校(学)	61.08.01	"
"	浦川平次	善通寺	15普連	60.03.16	"
"	奥野和男	豊中	中方輸(306輸中長)	61.03.17	"
"	谷崎敏弘	豊中	27普連	55.03.20	"
"	日高政広	出雲	13特連中長	61.03.17	"
"	廣塚雅史	伊丹	中方(防)	61.08.01	"

龍

期別	氏名	基地等	部隊名等	所属年月日	OB会費
23A	丸山和宏	東千歳	11 普連	60.03.16	完納
"	三木元秀	練馬	1 通大	59.03.31	"
"	若杉治徳	守山	35 普連	60.03.16	"
23N	井口義定	厚木	4支整付(中級学生)	61.07.16	"
"	井ノ久保雄三	横須賀	プログラム隊本部	59.06.30	"
"	数野謙一	横須賀	あさゆきぎ装員	61.01.20	"
"	畑中孝行	横須賀	練艦隊司令部	59.12.10	"
"	山下啓治	防大	小隊指導官	59.08.01	"
"	四元和生	防大	横補付(財修科)	61.07.19	"
23F	池邊正	奈良	幹候校	61.03.17	"
"	松尾茂	入間	空実団	59.03.18	"
"	宮田義章	入間	中警団	61.03.17	"
"	馬谷誠二	退職			"
"	シノナロ	退職	留学生		"
24A	浅野博義	岩手	9 特連	56.03.20	"
"	大久保和義	別府	41 普連	56.03.20	"
"	太田尚志	島松	北方武隊	56.03.20	"
"	大金田辰美	檜町	技研(3研)	60.03.17	"
"	芹川慎介	千僧	3 偵隊	61.03.17	"
"	常田義則	退職	小田原市千代 475-1		"
"	中村健蔵	富士	装開発実験隊	60.03.17	"
"	西津護	大村	16 普連	56.03.20	"
"	淵靖	市ヶ谷	陸幕調査部調 2別室	60.03.16	"
"	堀ノ内誠	東千歳	7 施大	61.03.17	"
"	稲葉貞志	高遊原	8 飛隊	56.03.20	"
"	山川純次	防大	機械助手	60.11.01	"
"	山田雅己	竹松	7 高群	56.03.20	"
24N	小川勝志	呉	ゆうしお	59.12.20	"
"	佐伯泰啓	舞鶴	いすず航海長	60.12.02	"
"	中村早速	舞鶴	舞補付(中級学生)	61.07.25	"
"	長谷川隆	大湊	いしかり航海長	60.12.20	"
"	松田俊宏	岩国	31 航空隊	59.02.17	"
"	山本浩	退職	北九州市小倉南区湯川 3-8-16		"
24F	佐藤秀幸	防大	小隊指導教官	60.08.16	"
"	清水尚志	入間	1 補東支	60.08.01	"
"	中館利光	市ヶ谷	中通群	60.08.01	"
"	藤城希恭	小松	第6 航空団	58.07.30	"
"	出口恭潔	入間	中警団(基業群)	61.11.04	"
"	山田真一	築城	第8 航空団	58.07.30	"
25A	池田順二	美幌	1 特群	57.03.20	"
"	石川哲也	小倉	40 普連	57.03.20	"
"	大内元	十条	武補	61.03.24	"
"	岡元正一	岩手	9 特連	57.03.20	"
"	小野寺靖	北熊本	42 普連	57.03.20	"
"	小菅康雄	旭川	2 武隊	61.03.24	"
"	佐伯義次	弘前	39 普連	57.03.20	"
"	重石義幸	檜町	中資隊	61.08.01	"
"	田草川茂	市ヶ谷	32 普連	61.03.17	"
25N	内山哲也	横須賀	ひえい	61.04.01	"
"	籠谷貴年	"	プログラム隊本部	61.07.02	"
"	河村正雄	"	かとり	61.01.10	"
"	杉原耕三	"	あさかせ	61.03.12	"

期別	氏名	基地等	部隊名等	所属年月日	OB会費
25N	高 島 修	鹿 屋	1 空	60. 01. 18	完 納
25F	安 藝 一	三 沢	第3航空団	60. 08. 01	"
"	尾 崎 信 朗	浜松南	2 術校	61. 04. 16	"
"	坂 本 卓 己	築 城	8 空団	61. 03. 17	"
"	藤 吉 恵 一	木更津	第1補給所	60. 03. 16	"
26A	石 川 毅	東千歳	1 曹数	60. 08. 08	"
"	石 山 暁	伊 丹	3 6 普連	58. 03. 20	"
"	内 海 浩	防 大	研究生	60. 03. 23	"
"	及 川 幸 夫	"	"	60. 03. 23	"
"	小 野 長 門	檜 町	檜町駐業隊付 (東工大)	60. 03. 16	"
"	金 子 寿 弥	旭 川	2 武器隊	58. 03. 20	"
"	河 原 敏 和	習志野	1 空団普群	60. 08. 08	"
"	坂 野 佳 彦	北千歳	7 1 戦連	58. 03. 20	"
"	滝 沢 由 則	退 職	札幌市中央区南 12 西 16 滝沢由子方	"	"
"	友 谷 部 隆	玖 珠 城	4 対戦隊	61. 03. 17	"
"	中 村 明 弘	都 退 職	4 3 普連	58. 03. 20	"
"	松 田 正 行	北 惠 庭	北九州市小倉北区中井 3-4-17	"	"
"	山 下 清 隆	1 戦群	1 1 7 教大	58. 03. 20	"
"	吉 田 清 英 紀	武 山	2 混団施設隊	59. 08. 01	"
"	吉 田 英 吉 宏	高 知	3 施大	58. 03. 20	"
26N	市 坪 秀 明	千 僧	舞 防	58. 03. 20	"
"	上 野 真 一 郎	舞 鶴	舞 防	61. 01. 20	"
"	相 良 達 也	館 山	1 2 2 空	61. 02. 28	"
"	佐 藤 寿 紀	那 覇	5 航空隊	58. 11. 21	"
"	杉 山 義 和	横 須 賀	4 2 掃隊	61. 01. 20	"
"	道 満 誠 一	舞 鶴	ゆうだち	61. 03. 27	"
"	平 野 勝	横 須 賀	せとしお	60. 07. 01	"
"	水 野 伸 彦	小 月	教空団司令部付	58. 11. 21	"
26F	池 野 伸 彦	厚 木	6 空	61. 08. 20	"
"	澤 池 島 暢 也	小 松	6 空団整補群 (武装)	57. 09. 10	"
"	福 木 優 輔	芦 屋	1 3 教団 退職	60. 03. 16	"
"	星 島 睦	千 歳	2 空団	60. 09. 06	"
"	米 川 敦 二	百 里	7 空団	61. 08. 01	"
27A	川 村 誠 治 彦	防府北	航学隊	60. 08. 01	"
"	舞 原 博 己	防 大	研究生	61. 03. 24	"
"	行 事 博 己	東千歳	1 電隊	61. 03. 17	"
"	大 居 正 之	防 大	研究生	61. 03. 24	"
"	大 場 基 美 雄	防 大	研究生	61. 03. 24	"
"	濱 田 秀	東千歳	1 曹教隊	61. 03. 17	"
"	長 合 友 造	守 山	3 5 普連	59. 03. 20	"
"	大 石 隆 一	霞ヶ浦	霞ヶ浦業隊付 (筑波大)	61. 03. 24	"
"	緒 方 禎 浩	久留米	4 特連	59. 03. 20	"
"	山之上 哲 郎	退 職	不 明	"	"
"	角 南 良 児	えびの	2 4 普連	59. 03. 20	"
"	津 田 浩 司	滝ヶ原	普通科教導連隊	59. 03. 20	"
"	米 山 多 佳 志	湯布院	3 特群	59. 03. 20	"
"	馬 場 政 和	北熊本	8 対戦	59. 10. 01	"
27N	中 里 巧	退 職	"	"	"
"	山 川 洋 昌 士	小 月	教空団司令部付	59. 11. 14	"
"	小 川 昌 宏	"	"	59. 11. 14	"
"	小 茨 俊 介	舞 鶴	あまつかせ	60. 11. 16	"
"	益 田 徹 也	呉	みねぐも	61. 03. 29	"
"		下 総	教空団司令部付	59. 11. 14	"

期別	氏名	基地等	部隊名等		OB会費
27N	五領隆男	呉	ゆうしお	61.07.01	完納
27F	足立謹聰	築城	8空団	61.05.30	"
"	甲斐新太	千歳	第2航空団	58.09.14	"
"	兼古修	百里	7空団	61.08.01	"
"	高野宗治	新田原	第5航空団	58.09.14	"
"	堀田隆治	小松	第6航空団	58.09.14	"
"	元木啓嗣	松島	4空団	60.08.01	"
"	蔵田人衛	退職			"
"	沢村徹	"	足立区足立4-13-15 千寿コーポ205号		"
"	西山利昭	"	東京都立川市高松町2-25-28 (一ツ橋大学)		"
28A	畦地勇	神町	20普連2中	60.03.20	"
"	足立哲彦	"	11武	60.03.20	"
"	岡澤武彦	玖珠	8戦大2中	60.03.20	"
"	北原秀章	今津	3戦大2中	60.03.20	"
"	古賀敏明	"	11特連3大5中	60.03.20	"
"	幸野英明	旭川	2特連5大10中	60.03.20	"
"	鶴見井耕大	市退職	横浜市戸塚区品濃町553-1 J-1405		"
"	永日高信	行	大阪市大正区鶴町2-16-11		"
"	藤原修	青森	5普連2中	60.03.20	"
"	三好邦夫	上富良野	2戦大3中	60.03.20	"
"	矢野光宏	東千歳	7特連1大2中	60.03.20	"
"	湯浅悟郎	幌別	338施中(13施群)	60.03.20	"
29N	内田公明	北熊本	42普連2中	60.03.20	"
"	河津稔	呉	しきなみ	60.11.13	"
"	鈴木巧	"	なつぐも	60.11.13	"
"	竹本直忠	横須賀	栃木県宇都宮市緑4-1550-84		"
"	西小路謙	厚木	てしお	60.11.30	"
28F	今井邦夫	千歳	4支整付(専門学生)	61.02.21	"
"	神山隆	輪島	2空団	59.09.12	"
"	白水裕人	当別	23警群	"	"
"	末広己	浜松	45警	59.09.12	"
"	山田嗣	"	集団司付	59.09.12	"
"	越水川哉	"	"	59.09.12	"
"	中平達勝	"	"	59.03.20	"
"	吉田一	"	"	59.08.10	"
"	米田正己	"	"	59.08.10	"
"	坂井健二	"	"	59.08.10	"
29A	坂井辰也	海田市	13通信大隊	61.03.20	"
"	大川浩史	都城	43普通科連隊	"	"
"	立林剛	千歳	7高射特科群	"	"
"	古川靖人	福岡	4武器隊	"	"
"	甲斐正人	郡山	6特科連隊	"	"
"	中村浩之	東千歳	7高射特科連隊	"	"
"	佐竹右幾	"	不明	"	"
"	駒井紀美彦	真駒内	18普通科連隊	"	"
"	津田芳明	札幌	1部方面通信群	"	"
"	浅川玉樹	"	(日産自動車追浜工場)	"	"
"	古田清悟	函館	28普通科連隊	"	"
"	新保博徳	北熊本	8武器隊	"	"
"	蛭原良雄	八戸	9武器隊	"	"
"	詫摩安義	旭川	2施設大隊	"	"
"	水带上	帯広	5通信大隊	"	"

29A 谷 拓 弥

期別	氏名	基地等	部隊名等	所属年月日	OB会費
29A	青柳光	✓			完納
29N	古田清悟	✓	練習艦隊	61.03.20	"
"	小屋敷彦	✓			"
"	山崎浩和	✓	練習艦隊	61.03.20	"
"	川上美均	✓			"
"	柏木均	✓	練習艦隊	61.03.20	"
29F	熊田原修	✓	百里7航空団	60.09.11	"
"	西村政恭	✓	荻原2高射群	60.09.11	"
"	高松実那	✓	那覇83航空隊	60.09.11	"
30A	池永博和	✓	練馬1通大	61.10.3	"
"	岩熊真司	✓	福知山7普連	"	"
"	魚住晴康	✓	立川職	"	"
"	魚躬浩靖	✓	退職	"	"
"	笠島文	✓	"	"	"
"	亀山淳	✓	都城43普連	61.10.3	"
"	管野俊夫	✓	健軍西方通信群	"	"
"	土屋甲吉	✓	帯広13施群	"	"
"	中井馨	✓	退職	"	"
"	中川洋行	✓	立川東方航	61.10.3	"
"	中村大介	✓	姫路3特連	"	"
"	中森雅美	✓	北守宮東方航	"	"
"	西林良典	✓	帯広4普連	"	"
"	林宏幸	✓	善通寺8施	"	"
"	福田洋司	✓	福岡4武器	"	"
"	船津達男	✓	退職	"	"
"	宮本善弘	✓	高遊原西方航	61.10.3	"
"	矢納裕二	✓	健軍西方会	"	"
"	山口芳正	✓	新発田30普連	"	"
30N	鈴木久達	✓			"
"	時久寛司	✓	江田島幹候校		"
"	百崎邦彦	✓	"		"
"	湯浅秀樹	✓	"		"
30F	栗田尚幸	✓	浜松北集団司付	61.9.10	"
"	黒田健一	✓	車力6高射群	"	"
"	後藤豊	✓			"
"	高橋親敏	✓	大湊北警団	61.9.10	"
"	西本彰	✓	佐渡中警団	"	"
"	本田猛	✓			"
"	吉田憲司	✓	見島西警団	61.9.10	"

編 集 後 記

合掌

新年、おめでとうございます。

OBの皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃から貴重な時間をさいてのご協力・ご支援並びにご指導頂きまして、誠にありがとうございます。

さて、ここに防大少林寺拳法部第13号の発刊を迎え、61年度の輝かしい成果を報告する事ができ、非常な喜びとするところであります。

我が部も創立22年目を迎え、防大校友会のリーダー格としての地位を確かなものとして、活動を続けております。また、我が部員により、校友会委員長、学生隊綱領委員長等、主要な学生隊の役職を占めるまでになりました。

これからも、現状に甘んじることなく、部員一同、栄光ある伝統を受け継ぐべく、ひるまぬ努力を続けますので、OB各位にも、何かとご多忙とは存じますが、相変わらぬご支援、ご高配をお願い申し上げます。

最後に、ご指導して下さいました部長、監督、顧問の方々をはじめ、投稿してくれた各学生に感謝し、編集後記とします。

結手

61年度OB係

